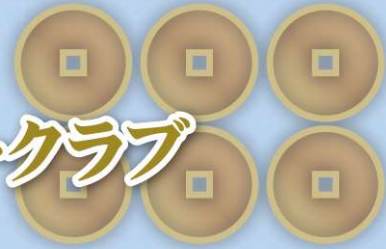




2018-19年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

第2600地区ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区  
**上田六文銭ロータリークラブ**  
Rokumonsen Rotary Club



【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1  
上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002  
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30  
《例会場》上田東急REIホテル 2F  
《創立》1997年2月18日

●会長 水野 泰雄 ●幹事 小嶋 修一 ●会報委員長 柄澤 堯 ●副委員長 大久保昌宏 ●委員 西澤 文登/渡邊 章貴

例会日誌

- 司 会 松澤 一志君
- 開会点鐘 水野 泰雄君
- 斉 唱 『上田六文銭 RC の歌』
- 委員会報告  
 会員増強セミナー報告  
 次年度会員増強委員長 杉山 裕君
- プログラム 宮澤エレクトによるセミナー  
 会長エレクト 宮澤 広一君

会長挨拶

水野 泰雄君



今年度の会長挨拶も残り一回となりました。今回は自分の会社のお話です。

「伝わる情報デザインを目指して。」  
 「デザインルームエムは、単なる制作会社ではありません。38年間にわたる経験と実績を生かして、共にお客様のそばに寄り添い、一緒に時代の風を感じ、先を読み～情報デザインの羅針盤として役目を果たしてまいります。」を企業理念に、「伝わるデザイン制作」デザインプラン事業/「IoT戦略的ホームページ・LP 制作」事業/「チラシ・雑誌」など紙媒体とwebでの集客事業/「ロゴ・ロゴ マークデザイン」事業/「写真撮影・画像処理・素材集の効果と有効活用」事業/「電子カタログ・冊子・自分史・電子書籍化」事業/「アーカイブ・オンデマンド」デジタルプリント

事業/「セミナー・勉強会・講演・執筆依頼」事業を営んでいます。

会社のプロフィールは、1980年7月に個人事務所として設立、1981年3月27日の法人化してデザイン・写植会社として事業開始。1995年県下初のPostScript Lever2.0のイメージセッターを導入しDTPの完全カラーデジタル化、サービスビューロー及びDTPサポート事業開始。2000年新規・成長分野事業所認定により、業務目的変更しインターネット事業を開始しウェブサイトの製作管理、別法人にて※webショッピングサイトの立上げ運営管理をスタート。2001年より総務省/上田市IT講習会派遣事業参加・雇用・能力開発機構長野センター企業向IT講習会派遣事業参加/上田法人会担当・上田市マルチメディア情報センター主催各種講習会・上田地域広域連合主催IT講習会にて講師として活動し、所属団体はNISA 一般社団法人長野県情報サービス振興協会 理事/上田商工会議所常議員 情報部会副部長・総務委員会/長野電塾 運営委員/雇用・能力開発機構長野センター新規・成長分野事業主訓練校実施担当会社/特定非営利活動法人 長野県NPOセンターキャリア探索プログラム 講師

<https://www.facebook.com/yasuo.mizuno?ref=brmpnref=lhc>※web

※ショッピングサイト運営管理・サインオンライン <http://www.signonline.co.jp/>

毎年変わる年賀名刺にも記してありますが、「再起動」して当社は常に業態を変化させて生き残りをかけて来ました。現在AIやロボットを活用した新たな産業革命「インダストリー4.0」が起きて

クラブテーマ「おもてなしから始まるクラブ活動」

中小企業にもデジタル・トランスフォーメーションが始まり、少子高齢化により減少し続けている日本の労働力人口。国が推進する女性やシニア、外国人人材の活用に加え、労働力を補うと期待されているのがロボットやAIです。その普及に伴い、産業や働き方は大きく変化していきます。第4次産業革命の思想でロボット化、デジタルファクトリー化を進め、現在の自動化率は75%以上に。さらにビッグデータも活用して、生産性の向上につなげています。生産性が向上したからといって、人間の仕事がなくなったわけではありません。なぜなら肝心の「産業用ロボットをどう使うか」は、人間が考えるほかありませんから。

18世紀の産業革命でも、人力だった動力が水や蒸気になりました。でも人間の仕事は失われず、もっと高度な次元に移っていきまし、それと全く同じことだと思えます。コンピュータの出現によって、製造する人、開発する人、使う人、コンサルティングする人などさまざまな仕事が生まれました。同様に、AIを用いてシステム開発をしたり、役立つ仕組みづくりをしたりする人がたくさん必要になる。AIは、人々の能力の増幅も担うでしょう。2045年、先進国における平均寿命は100歳を超えと言われています。すると必然的に働く期間も長くなる。昔であれば、シニアになるとマネジメントはできても、現場の技術についていけないことがありました。けれどテクノロジーを活用することで、膨大な文献を調べたり、海外で行われた学会の内容を見られたりと、私のように60代であっても効率的に能力をアップデートできます。100歳まで人を活性化させるために、能力を増幅させるのはAIの役割で、そういった需要も増えていくと思えます。加齢により能力の衰える速度より、テクノロジーの活用によって能力が向上する速度の方が速くなれば、年をとっても能力が衰えなくなる可能性があります。既に日常の中にも、その兆候は現れていると思えます。20世紀はルールを決めて、マニュアルを作成して標準化し、それを順守していく働き方、つまりルール思考でした。それは今後も必要ですが、より良いサービスを提供するためには変化を認識し、フレキシブルに対応しなければなりません。多様性が求められる中で、硬直的なルール思考では破綻するでしょう。一方アウトカム思考は、結

果の数字を目的に、実現手段をフレキシブルに変えていく働き方。五感では分かりづらいわずかなブレや揺らぎを察知して、最適な方法で実行する。AIはまさにそのためのツールなのです。今まではコスト面で難しかったのが、近年はようやく基盤ができつつあります。AIを活用することで多様性に対応しつつ、一人ひとりの強みや特徴を生かして自由度の高い働き方をしていく。それをみんなで目指していくべきです。ルールや規則の中で働くのが20世紀流のロジック、要は左脳の世界ですよね。けれどAIの普及に伴い、どう使うかをクリエイティブに考える必要があります。右脳を使ったより高度でクリエイティブな活動が求められ、それに伴って新しい仕事がたくさん生まれると思えます。

結論として、AIが補ってくれる部分はたくさんある。だから人間はクリエイティブを磨いて、AIに代替されない領域を強化していくことが必要です。今は計算をするのに、紙に書いてする人はいません。電卓やスプレッドシートで行った方が、よほど正確で高度にできるからです。

人間はその数字を見て、何をすべきか判断する。AIの普及とともに、仕事の流れや働き方もきっとそういう方向に変化していくでしょう。そう、会社も自分自身も常に「再起動」です。

## 幹事報告



小嶋 修一君

RI より

- ・財団室ニュース 6月号
- 2. AMUより
  - ・教育ガイダンスのお知らせ
- 3. 上田市防衛協会様より
  - ・「自衛隊ふれあいコンサート in 上田」ご案内
- 4. 理事会より
  - ・6月理事会議事録

### 全会員配布物

- 1. 当クラブ会報 第1025号



- 2. 会長より 今週のことば
- 3. 次年度上半期会費納入のお願い
- 4. 7-8月プログラム
- 5. 2019年規定審議会報告

てロータリークラブについてのセミナーを行いました。

出席・ニコニコBOX報告



吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	24	6	0	75.00%
前々回	21	3	1	90.47%

- 水野泰雄君 今日通常例会が最後です。来週の夜間例会もよろしくお祈りします。一年前とは違い、諸々感慨深いです。
- 宮澤広一君 少々お話をさせていただきます。
- 西澤文登君 今年度の例会もあと2回。皆さん心残りの無いように頑張りましょう。
- 田中栄一君 水野様あと1回で終わりです、宮澤様の始まりですね。一年間ご苦労様です。
- 柄澤 堯君 今年度最終昼例会です。宮澤エレクトいよいよ出番です。頑張ってください。
- 杉山 裕君 体調を崩して休んでいましたが、今日から例会出席しますのでよろしくお祈りします。
- 合原亮一君 週末急な仕事で29年ぶりに四国に行きました。さぬきうどんを食べに行ったような出張でしたが、これまた久しぶりに東京の実家にもよれました。
- 山田 豊君 会長エレクトご苦労様です。

- 笠原 一洋君 小嶋 修一君 松澤 一志君  
 宮原 宏一君 中澤 信敏君 清水 一典君  
 吉田 穰君



ロータリーとは

(The Definition Of Rotary)

ロータリーの定義

以前のロータリーの定義 — ロータリーとは？

1976年、国際ロータリー理事会はロータリーの基本的な特性に簡明な定義を与えることに際心を持ち、当時のロータリー広報委員の3人にロータリーの定義を一文にまとめて表現する案を作成するように依頼した。多くの原稿が出されたが、この中から下記のような定義が選ばれ、これがそれ以来多くのロータリー刊物に使用されてきた。  
 英字で31文字、日本語で101字のこの定義は、「ロータリークラブというのは何ですか？」とたずねられたときに思い出す言葉のある言葉とされている。

「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

The ABCs of Rotary (ロータリー-のいろはより)  
 クラフフォード、ダクスターマン 1992～93年国際ロータリー会報

ロータリー運動の実体を表す言葉 — 「入りて学び、出でて奉仕せよ」

ロータリー運動の実体、見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ」"Enter to learn, Go forth to serve" と言う言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一週の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。(P53 参照)

最近のロータリーの定義 — ロータリーとは？

ロータリーのエッセンス

世界各地のロータリー会員に、「あなたがロータリーで熱心に活動する理由は？」と問いかけたところ、次の3つに集約される答えが返ってきました。

リーダーのネットワーク (Joint Leaders) :

ロータリーは、世界のさまざまな国や職業のリーダーのネットワークです。

アイデアを広げる (Exchange Ideas) :

ロータリーは、多様な会員のアイデアや職業の専門知識を生かして、地域社会のニーズや問題に取り組めます。

四つのテスト (P15 参照)

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

THE FOUR-WAY TEST  
 of the things we think, say or do

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 真実か どうか</li> <li>2. みんなに公平か</li> <li>3. 好意と友情を深めるか</li> <li>4. みんなのためになるか どうか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Is it the TRUTH ?</li> <li>2. Is it FAIR to all concerned ?</li> <li>3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ?</li> <li>4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?</li> </ul> |
|--|---|

プログラム

セミナー『ロータリーとは』  
 会長エレクト 宮澤広一君

次年度の課題となっております、新人研修を兼ね

ロータリーの基本理念

ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの目的 (Object of Rotary)

【ロータリーの目的】は国際ロータリーおよび標準ロータリークラブ定款に規定され、その原文が Object of Rotary であり、ロータリー運動の目的を簡潔に表したものです。

ロータリーが創立された当初から【ロータリーの目的】は定款に定められ、その後幾度も改訂され、1951年に開催されたアトランティック・シティ大会において、Object of Rotary と改められ、現在の一条の本文と四つの付随項目になり、今日に至っています。また、このロータリーの目的は、標準ロータリークラブ定款第18条（ロータリーの目的の受諾と定款・細則の遵守）により、その遵守が入会の必須条件となっています。つまり、ロータリーの目的を受諾し、定款・細則を遵守することを誓約した人だけが、ロータリアンとしての特権が与えられ、いかなる理由があろうとも、そのことを知らなかったとか、そのことが書かれた印刷物を受け取っていないという言い訳は認められません。目的受諾を条件に入会を認めると言うこの取り決めは、おそらく他の団体にはないロータリークラブ独特の方法だと言えます。

標準ロータリークラブ定款 第18条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の遵守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

ロータリーの目的 (Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として専任の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって専任の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を葆ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に専任する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、専任の理念を実践すること；
- 第4 専任の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

インターアクト地区大会参加報告

6月9日（日）第26回インターアクト地区大会はが長野県須坂創成高等学校インターアクトクラブをホストとして、開催されました。当クラブから宮澤会長エレクトが出席いたしました。



会員増強セミナー出席報告



6/15(土) 塩尻市 ホテル中村屋で開催された次年度会員増強セミナーに次年度会員増強委員長 杉山 裕君が出席、委員会報告がありました。

